

上

前史・自然・学校詩編

日本児童詩集

江口季好

寒川道夫 編

太平出版社

編者紹介

江口季好 きよよし 1928年生 早稲田大学国文科卒，作文教育・児童詩教育を研究。主な著書に『児童詩の授業』『児童詩教育入門』，編著に『児童詩教育 事典』『ぼくらは人間』など

寒川道夫 みちお 1910年生 新潟県立高田師範学校卒，国語教育・児童文学を研究。主な著書に『新しい国語の授業』『書くこと』『私たちのことばと文学』，編著に大関松三郎詩集『山芋』など

日本児童詩集 上

1971年 7月20日 第1刷発行

¥ 850

編 者 江口季好・寒川道夫

発行者 東京都千代田区西神田1-2 崔 容 徳

印刷者 東京都文京区後楽2-22 江戸川印刷

発行所 東京都千代田区西神田1-2-15

株式会社 太平出版社 ©

TEL291-9744・9752,294-7083 振替東京99563

※丁・乱丁本はおとりかえいたします

日本児童詩集

上

江口季好・寒川道夫||編 太平出版社

例 言

1 本詩集には、「明治」以後のもっとも古典的な作品から戦後児童詩時代にいたる児童詩を精選して収録しました。

2 編集にあたっては、各作品の時代的な意味と子ども意識の形成過程がとらえられるように留意し、作品をとおして児童詩の歴史が俯瞰できるように心がけました。

3 本詩集は、全体を五つに分け、Ⅰに前史を、Ⅱ～Ⅴに戦後の児童詩をおさめました。

前史は「赤い鳥」と「生活詩」に分けて、これを発表年代順に、Ⅱ以下は四季別に大別して、これを学年順に配列しました。なお、詩の内容によっては、かならずしも季節にとらわれずに配列したものもあります。

4 用語用字は、最初に発表された形に拠ることを原則としましたが、当用漢字・現代かなづかいに最少限の統一をはかりました。

5 各作品の末尾に、作者の出身地・学校名と、作品の最初の発

表誌紙・号数（または刊行年月）をしめしましたが、これらについて不詳のものは、その旨を明記しました。

6 なお、前史のなかで、『赤い鳥』は、各作品末にその出典をしめすのを省略しました。

また、出典・刊号などをしめていない作品は、文集その他に発表されていないもの、または編者が以前に作品だけを書き写していたもので不詳のものです。

7 地域語（方言）その他、特殊な用語については、行間にルビの形で、または作品末に、注記を加えました。

また、低学年の作品はすべて分かち書きに、かたちを統一しました。

なお、住所不明のために、作者・指導者、または関係者の収録許可をえられないまま、本詩集におさめさせていただいた作品が若干ございます。お気づきの方は、編集部までご一報くださいますようお願いいたします。

一九七一年七月

I 前 史

前史 II i II 赤い鳥

例 言

山ぶどうの花は白いよ

が 山 梨 名 取 唯 雄 (四 年) 42

冬 の 夜 東 京 船 橋 春 (六 年) 42

雨 和 歌 山 芝 田 や す (四 年) 42

つ ば き 山 梨 篠 原 雪 江 (四 年) 42

秋 の 夜 岐 阜 松 波 由 一 (六 年) 42

雪 の ふ る 日 新 潟 酒 井 美 与 吉 (五 年) 43

花 売 り 新 潟 酒 井 美 与 吉 (五 年) 43

写 真 新 潟 酒 井 美 与 吉 (五 年) 43

な ま い き 山 梨 窪 田 茂 夫 (五 年) 44

蒲 団 茨 城 為 我 井 静 江 (六 年) 44

新 聞 広 島 芳 原 真 佐 緒 (四 年) 44

で つ ち に 行 く 奈 良 西 谷 清 一 (六 年) 44

桃 売 り 香 川 長 山 勘 次 郎 (六 年) 45

な つ か し い 手 山 梨 金 子 綿 糸 (六 年) 45

ひ ま わ り 茨 城 中 山 た け (五 年) 45

牛 と 草 茨 城 中 山 た け (五 年) 46

おむかえ	千葉橋本 貞子(二年)	46
沼	茨城霜村 貞夫(六年)	46
卒業	福岡村田ふく子(六年)	47
友だち	福岡村田ふく子(六年)	47
天気	山形山川 勝雄(五年)	47
松の花粉	広島石田よしの(六年)	48
てまりこの花	福岡村上としえ(六年)	48
けんか	神奈川 齊藤 邦(六年)	48
梅の木	神奈川 山下 あさ(六年)	48
夕方	山形金子 馨子(六年)	49
犬	山形峰田あさ子(三年)	49
泣いた後	大阪田中 千晴(四年)	49
春	兵庫中島貴四郎(五年)	49
さぎ	山形吉田 重雄(四年)	49
土のにおい	山口小松 雅彦(五年)	50
おひさん	熊本海達 公子(五年)	50
晩	千葉村越 力(四年)	50
夕方	北海道 石垣 のぶ(五年)	50
月夜	北海道 鈴木きみえ(五年)	51

八重蔵泣くなよ

みつばち.....福岡とくながのりひさ(一年) 51

習字.....兵庫神崎 修(四年) 51

汽笛.....秋田伊藤 重治(四年) 52

兵隊さん.....新潟浅井 一雄(四年) 52

さくら.....山口南里 浩正(六年) 52

よさぶろうこ.....秋田池端仁一郎(二年) 53

じゅんざさん.....福島こんのあきお(一年) 53

五錢玉.....東京亘 トシ子(四年) 54

りょうし.....秋田小川 敏子(五年) 54

やかたぶね.....千葉青木 克己(一年) 54

ぎんやんま.....新潟南 四郎次(一年) 55

青いむぎ.....山梨浜野美栄子(四年) 55

じをかくと.....新潟反町みつえ(一年) 55

あかんぼう.....東京武藤 健蔵(三年) 56

いねこぎ.....宮城相崎 秀男(六年) 56

ふろの水くみ.....三重森岡 ひで(三年) 56

かじや.....青森関川 リヨ(一年) 57

かあてん.....北海道高崎 稔(三年) 57

つらら	東京川口	悦子(二年)	57
ほたる	秋田鈴木	政之(二年)	58
おかあさん	千葉小川	美雄(二年)	58
しかられた	千葉竹下	光吉(二年)	58
いたずら	東京茂呂	桂子(六年)	58
夕日	福岡上野	昭和(三年)	59
わすれもの	青森齊藤	なか(四年)	59
米つき	岐阜後藤	正(六年)	59
こたつで	新潟渡辺	みよ(三年)	60
雪道	新潟大間	春枝(三年)	61
母	岐阜田口	静(四年)	61
父	千葉大江	清隆(四年)	62
東京へ行った父	三重黒田	量子(四年)	62
きしゃごっこ	新潟今井	勇一(一年)	62
先生が笑った	千葉小川	美雄(三年)	63
卒業	千葉大野	義孝(六年)	63
島おこし	北海道牧野	義雄(六年)	63
音	長崎小川	春一郎(六年)	64
豆はこび	石川西尾	啓二(五年)	65

い	な	ご	長野橋爪	力(四年)	65
か	さ		東京高橋	清(四年)	65
弟			北海道田岡	茂治(四年)	65
火	ば	ち	和歌山尾崎	孝子(六年)	66
わ	ら	つ	岡山絹田	叫(四年)	66
き	り	の	岡山岡本	台盛(五年)	66
麦	ふ	み	宮城小野寺さち子(五年)		67
写	生		新潟池田	政雄(六年)	67
は	な	ど	福島大竹	トヨ(六年)	68
父	から	き	長崎宅島	光男(六年)	68
夜	の	稲	鹿児島吉松	政盛(五年)	70
は	な	ど	山梨大石	昭二(六年)	70
せ	み		新潟渡辺	みよ(四年)	71
茶	の	花	千葉斉藤	喜助(六年)	71
桜	の	花	長崎出口マツエ	(六年)	72
ひ	び	き	長崎古屋	秀子(三年)	72
ペン	キ	屋	長崎溝口	清盛(六年)	72
稲	こ	き	岡山船曳	兼男(六年)	73
旗			山口杉山八重子(五年)		74

Ⅱ 自然詩編

自然Ⅱ一年Ⅱ春

にいさんたつしゃでね……………静岡小見山節子(六年) 74
 兵隊を送る……………長崎福田清(五年) 75
 川のかみさん……………静岡岡川口大三(四年) 75
 草かり……………朝鮮金礼源(四年) 76
 先生の入営……………岡山内田誠也(三年) 76
 神国日本……………静岡岡福地道雄(五年) 77
 夕方の旗……………鹿児島満重実夫(五年) 77
 夢……………神奈川小清水君江(六年) 78

おたまじゃくしのあしがでた……………

自然Ⅱ一年Ⅱ夏

おたまじゃくし……………静岡岡赤堀郁郎 80
 おたま……………埼玉中村みのる 80
 えんどうのつる……………大阪山口雅代 80
 いいおてんき……………静岡せりざわよしあき 81
 なわとび……………山形たかなしくみこ 81
 ばった……………北海道こんのかずゆき 81
 かぜになつたら……………

せみ……………岡山なかにしきようこ 81
 みみず……………石川島田絵美子 82

自然||一年||秋

かぜになつて	福島阿字	征男	82
ほたるとり	長野たむら	あやこ	82
かみきりむし	静岡つじむらなつこ		83
かい	東京とかのやすひこ		83
ねたふりをして	長野はらみはる		83
かぶと	長野うちぼりしゅうじ		84
ゆかた	東京北野順子		84
そら	長野こんどうかずたか		85
あり	東京しみずみさお		85
あり	北海道山田めぐみ		85
あしたのあさはたまごやき			
こくちょう	東京うちださとこ		86
にわとり	福島ながいみねこ		86
あかとんぼ	長野ふくしまともこ		86
こおろぎ	東京まえだつやこ		87
ねむの木	長野ながたきみこ		87
へちま	兵庫がじにしようのすけ		88
雨ふり	愛媛ゆもとただひろ		88
あめ	北海道ながさきみゆき		88

自然Ⅱ一年Ⅱ冬

えんばくつみ 北海道 くぼみちかず子 89
 かれきを なぐりつけたら

ね こ 東京 みやた はるみ 89

う し 北海道 たかはしみわ子 89

ねこやなぎ 北海道 ほそみ しずお 90

ぼくは かんがえる 東京 こばやしまさあき 90

まきかぜ 北海道 おおた ゆたか 91

は る 北海道 たかお さとし 91

しもばしらがないている 北海道 田上 泰将 92

やかん 北海道 とざき えりこ 92

自然Ⅱ二年Ⅱ春

木のめ の ぼうやが

春の風 東京 村瀬 幸子 93

花のおしろ 長野 角田 奈実 93

すみれ 福島 丹野 富久一 93

花 長野 宮尾 知子 94

きものの もようの花 京都 森川 郁 94

ひよこの えさ 東京 いわさきひろみ 95

アメンボ 長野 さいとうひでき 95

自然Ⅱ二年Ⅱ夏

海へ かえりたいよう

自然Ⅱ二年Ⅱ秋

え び 静岡わたなべまさき 95
 せ み 千葉はたやひろし 96
 海に 行きたい 長野飯島ひとみ 96
 に じ 長野さかい かおる 97
 石は よる ねないで

自然Ⅱ二年Ⅱ冬

石 群馬黒沢 稔江 98
 夕やけ 大分足達 けさみ 98
 すずめの てつぼう 長野佐佐木 規子 98
 しいのみ 東京今野 京子 99
 ひかげの トーテムポール 福島わかばやしよし子 99
 トーテムポール 北海道いとう たかこ 100
 お空の かみさま 京都しまぬきはじめ 100
 つらら 大分足達 たつひこ 100
 かおあらい 東京八木 清一 100
 あたまに水がおちてきた

自然Ⅱ三年Ⅱ春

雲 北海道武山 健也 101
 春 長野横沢 きみ子 102
 つばめ 広島かりや のぶこ 102
 み い 102

自然Ⅱ三年Ⅱ夏

おややぎ 長野宮沢 富枝 102
 田 植 長野掛山 順子 103
 さかなは自分の名前知らへんね

サイダー 北海道佐野 裕美 103

かみなり 長野みやさかたえ子 104

おさかなの名前 兵庫小竹 ひろし 104

さかなつり 大分川村 竜一郎 105

せ み 長野佐佐木 幸 105

クワガタ 岐阜田口 浩久 105

つ ゆ 長野宮尾 なお子 106

自然Ⅱ三年Ⅱ秋

うそみたいな山

ふ じ 山 静岡金子 房子 106

秋をみつける 鳥取森岡 明美 107

秋 の 風 福岡出口 のぶお 107

ころの目 鳥取松田 修一 107

コオロギ 東京大附 浩之 108

こおろぎ 東京大和田 真弓 108

自然Ⅱ三年Ⅱ冬

しもなんかにまけてたまるか

し も 大分長谷部 一郎 109

ゆ き 兵庫 友田 いっ子 109

雪 東京 原田 やすとし 110

朝 北海道 これまつゆきこ 110

自然 四年 春
花びらと花びらが手をつなぐ

たらいの水 石川 小杉 一子 110

川の水 京都 浅井 忠司 111

ふきのとう 福島 析 笠 幸 111

雪とあんずの花びら 長野 林 富美子 112

小川の太陽 香川 大 西 寛 112

風の王様 福島 佐藤 浩子 113

なわとび 福島 柳 沼 聡美 114

ガ マ 福島 田中 秀行 114

自然 四年 夏
太陽は昼の神さま

麦 畑 千葉 布施 伴子 114

おかあちゃんのえんそく 京都 高井 秀男 115

かわいいポストのならんだ道 東京 高橋 ゆかり 115

ホタル 長野 古林 さと美 116

太陽 香川 大 西 寛 117

呑川のふなとり 東京 かしわい ちろう 118